

## 第2回 学校運営協議会

### 6. 保護者からの意見の提出状況について

- ・申し出なし

### 7. 授業見学

- ・自立支援コースが在籍する授業を中心に見学
- ・6時間めではあったが、どの学年もしっかりと顔をあげ授業に集中している様子がうかがえた
- ・総合学科に改編された2019年頃から登校時の雰囲気も良くなり、遅刻数の減少に比例して授業の受講態度が良くなっていることを実感できる状況であった
- ・教員の授業の様子についても電子黒板を有効活用し、視覚的な情報提示によって生徒理解を促す工夫が見られるものであった

### 8. 本年度の取り組みの中間報告について

#### [学習指導室]

- ・自習室の環境整備（図書室に個別の自習ブースを24箇所）
- ・自習スペースの活用（教員の当番制により、放課後の活用を促進）
- ・朝の始業前、放課後17時以降の利用についても生徒のニーズがあると考えられるが、教員の勤務時間の兼ね合いもあり、現状では勤務時間内で運用されている
- ・18期生の進路状況としては自らの希望進路に直結した進路の自己実現が顕著である
- ・森ノ宮医療大学、関西医科大学、仏教大学(教育学部)、大阪府職員(実習教員)など近年合格が出ていなかった進路先での合格が出始めている

#### [生活指導室]

- ・1年生の遅刻数が非常に少ないこともあり、始業時間に関する遅刻は減少傾向にある
- ・それに伴い、「学校は学びの場」である生活指導室の方針が授業の受講態度にも反映されていると考えられる
- ・学校説明会での中学生の保護者、進路指導室などへの来客の方々から挨拶をしっかりとってくれる生徒であるという印象をもっている
- ・挨拶をする習慣が付き始めているので、立ち居振る舞いを含めた挨拶の質を高めていく取り組みを行う

#### [企画・広報室]

- ・10月29日(日)に行われた第2回学校説明会では約300組、約600名の中学生、保護者の方々が参加した
- ・枚方なぎさ高校に対する期待が高まってきていることを実感する学校説明会であった
- ・近隣校で日曜日に学校説明会を行っている高校はなく、参加しやすい日程調整を行ったことも要因の1つと考えられる

## 9. 質疑応答・意見交換

Q. 家庭学習時間の確保についてどのような取り組みをされていますか？

A. Google クラスルームを用いた課題配信などを用いて従来の宿題の形から少しずつ変化を付ける工夫をしている

Google クラスルームは誰が未提出か画面ですぐに確認することができ、管理もしやすい利点がある

高校でも苦労されているように中学校でも家庭学習の習慣をどのように付けていくかに苦慮している

Q. クラブ活動と両立はできているのか？

A. 実際、部活動をしている生徒の方が家庭学習の時間が長いデータ(2022 年度進路指導部調べ)が得られている

定期考査に関しても成績上位層はクラブ員が多い

時間の使い方、学校生活に向き合う姿勢などクラブ活動の中で培われる意識が大きく関与していると考えられる

Q. 教員の働き方改革について何か取り組まれていることはあるのか？

A. 答えがなかなか出しにくい事象であるが、スクラップ&ビルドの概念で固定概念からの脱却も必要であると考えている

6 月より毎週水曜日は 17 時で退勤する一斉退庁日を設けている

始業前の欠席・遅刻連絡などできる部分から業務の効率化をはかっている状況である

Q. 進路状況についての今後の見通しはどのようなものか？

A. ベネッセの実力診断テストで枚方なぎさは入学してきた生徒の底上げはしっかりできている

他の高校でここまで底上げできている学校は実質ないに等しい

しかし、成績上位層をさらに伸ばすことができていないことも事実

成績上位層の力をさらに引き上げ、卒業後の進路の選択肢を少しでも広げる取り組みをどのようにしていくかが明確な課題である